

青山小中CSだより

令和2年10月30日号

10月24日(土)には第3回青山小中CS学校運営協議会が開催されました。そこで、今年度これまで議論を重ねてきた「青山学区でめざす子ども像(人間像)」について、熟議を行い決定をいたしました。

めざす人間像

成人教育 までの一貫性を

主体的に考え、判断し、自らの責任で行動する 青山人(あおやまびと)

めざす子ども像

義務教育 を経て

【15才時の姿】 自らじっくりと考え、自らのこたえをもち行動する 青山人

【12才時の姿】 自らじっくりと考え、考えたことをもとに行動をおこす 青山っ子

就学前教育 から

☆青山学区では、この「めざす人間像・子ども像」の実現に向けて、家庭教育・社会教育・学校教育の3つの教育が共に力を合わせて取り組みます。
☆その具体的な取組や組織体制について、今後、更に熟議を続けます。

<11月28日(土)に第4回学校運営協議会を開催 ・ 組織体制などを協議予定>

【協議会でのご意見 (一部抜粋)】

- ◇ふるさと意識を持つことは、子どもも大人も大切だ。
- ◇子どもだけではなく、大人も成長していくことが必要だ。大人が変わらなければ・・・。
- ◇思いやりなどの根底には「あいさつ」がある。気軽にあいさつを交わせる青山にしたい。

- ◇今回の人間像・子ども像は抽象的なもの。具体の取組について更に熟議を重ねたい。
- ◇これからの時代に求められる人間像・子ども像をうまく言葉にできた。
- ◇「青山人(あおやまびと)」という表現にふるさと意識を感じることができる。
- ◇運営協議会委員のメンバーが共有した「思い・願い」を多くの地域の方と共有したい。

